

事務事業シート 対象事業年度 平成 24 年度

コード

個24事08

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	5 安全な港	23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取り組みの方向性)			責任者	企画調整室 事業担当課長
基本施策名	08 施設の安全性・信頼性の向上	事務事業	成果	コスト	連絡先 052-654-7921 連携課 工事課、港湾工事事務所、施設事務所	事業 期間 平成20~25年度
個別施策名	24 海岸保全施設の機能を維持・強化する	継続	拡大	拡大		
事務事業名	08 防潮壁等改良事業				根拠 法令等	社会資本整備重点計画 海岸保全基本計画
目的	海岸保全基本計画に基づき、高潮対策として海岸保全施設の改良等を行うことにより、海岸保全施設の機能を維持します。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
概要	整備場所:名古屋港区潮凧ふ頭、稲永ふ頭、大手ふ頭、中川口、築地・ガーデンふ頭、大江ふ頭、昭和ふ頭、船見ふ頭、潮見ふ頭 内容・規模:海岸保全施設の改良 総事業費:11.8億円 事業手法:社会資本整備総合交付金事業				関連 シート	個24事05「護岸延命化(改良)整備事業」、個24事06「防潮壁嵩上(改良)整備事業」、個24事07「防潮岸等(改良)整備事業」をこの事務事業に整理統合しました。
事業着手時点の評価	海岸保全施設の改良等を行うことで、海岸保全施設の機能が維持され、背後地域の生命財産を守ることができます。					
24年度の実施予定	引き続き、胸壁改良、陸閘改修・壁体化及び老朽化対策を行うとともに、新たに整備する陸閘の実施設計を行う予定です。					

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	胸壁改良、陸閘改修・壁体化及び老朽化対策を行い、新たに整備する陸閘の実施設計、沿岸防災情報管理システム基本設計を行いました。							
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)	
総事業費 計	千円	5,000	26,600	49,800	110,400	188,300	(款項目節) 歳出:建設費/整備費/改修費/海岸防災費/工事請負費	
国費	交付金	千円	2,500	12,800	24,200	55,000	75,300	(算出計算式) 本組合の負担割合は、総事業費の5分の3(胸壁) 本組合の負担割合は、総事業費の2分の1(陸閘、老朽化)
		千円	2,500	13,800	25,600	55,400	113,000	
人員費相当額 計	千円	0	0	13,485	12,844	16,037	(その他) 人件費は21年度まで名管事業費に含まれ、22年度以降は、事業費の対象外となっています。24年度補正予算6,000千円は繰り越して、25年度に実施する予定です。事業費については最終確定額ではありません。	
正規職員	人	0.00	0.00	1.59	1.49	1.84		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計(国費除く)	千円	2,500	13,800	39,085	68,244	129,037		

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	最終目標	26	備考(指標の算定方法)
事業進捗率(%)	目標	0.6	3.4	10.4	12.0	18.7	(累計)100		事業進捗率(目標・実績)は、総事業費を100とした事業費(当初予算額)の割合です。各年度の達成率は、決算額(実績)÷当初予算額(目標)×100で算出しています。24年度より、総事業費を9.5億円から11.8億円に変更しています。
	実績	0.6	3.2	6.0	13.3	16.0			
	達成率(単年度%)	100.0	94.1	57.7	110.8	85.6			
	達成率(累計%)	0.6	3.8	9.8	23.1	39.1			
達成率、事業進捗率の補足説明									

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取り組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			防災上、港に重要な施設であり、事業の進捗を着実に図る必要があるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み				
胸壁改良、陸閘改修・壁体化及び老朽化対策の事業進捗を図ります。				